



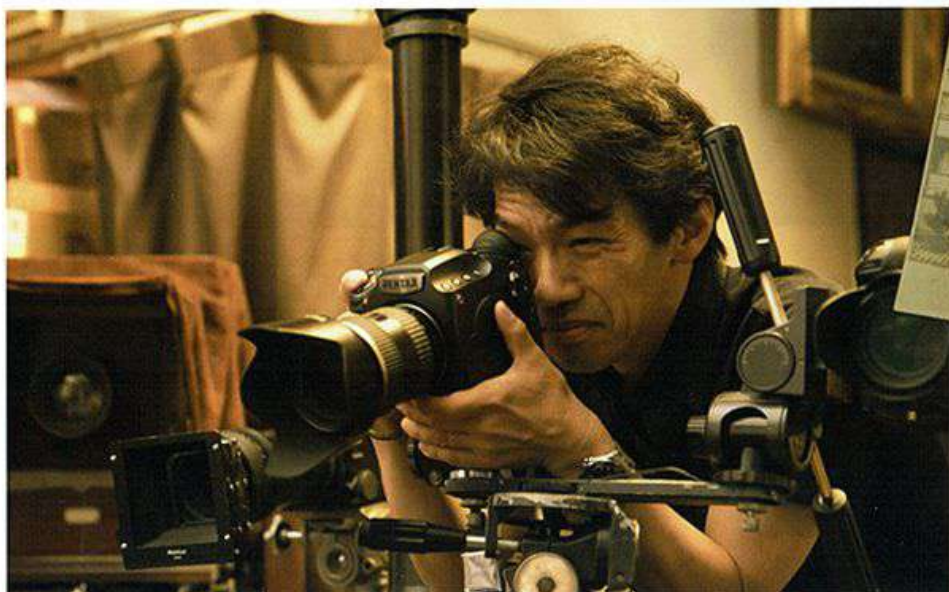
戦後再建した建物で三代目が運営している

アートな麻布に魅せられて②9

家族の歴史、絆、笑顔レンズを通して見守る

松尾写真館

麻布十番商店街で存在感のある、昭和レトロな佇まい、それが大正12年(1923)創業の「松尾写真館」です。お店の前には、いい表情をした笑顔の写真が所狭しと飾られていて、道行く人が立ち止まって眺めていきます。穏やかな家族の表情に、なんだかほっこりします。



戦前は十番商店街の本通り沿いにあったという



祖父の代から使っていた大型カメラ「アンソニー」



大家族の中で育つ

松尾写真館は三代目松尾輝明さん(49歳)が、代表を務めています。輝明さんの祖父善男さんが、ここ麻布十番で創業した時は、現在の十番商店街の大通りの方にありました。当時から外国人が多く、ハイカラな写真館は多忙でした。ところが戦災に遭い、店も機材も全て灰に。戦後すぐ、商店街の仲間と長屋風の共同ビルを建設、それが今の場所です。祖父善男さんは、輝明さんの父、次男の賢一さんをはじめ7人の子どもを抱え、大変な時期もありました。兄弟が力を合わせ、善男さんの写真館を手伝いました。昭和30年代は十番周辺に5~6軒の写真館があったそうです。家庭的で温かみのある接客が支持され、松尾写真館だけ現在も残っています。

「僕が小さい頃は、祖父母や叔父一家が店の上で暮らしていて、一日中賑やかでした」。一人っ子の輝明さんは、大家族の中で育ったのも当然で、ビル4階の食堂で、おばあちゃんや叔母さんの料理をみんなで食べていました。輝明さん父は、近所に住んでいましたが、寝に帰るだけ。下校後は写真館で過ごす日々でした。

商店街の子どもたちの王道コース!「南山小→城南中(現六本木中)」に進み、都立三田高校へ進学した輝明さん。一步外へ出れば、必ず知り合いに会うのが日常でした。「今もそうです(笑)」

父と子の二人三脚で写真館を支える

輝明さんは大学進学の際、写真館の跡取り、が頭をよぎるのですが、悩みなながらも写真とは縁もゆかりもない学部を選び、食品会社に就職。その後、飲食

店を経営したり、写真とは無縁でした。中古カメラを扱う店主と出会い、カメラ談義に花を咲かせた時、「歴史を目で見えるかたちで残す」ことに目覚めたといいます。それは祖父、父が大事にしてきた「家族の豊かな時間を残す」ことに他なりません。写真館として存在意義を改めて感じた、輝明さんにとっての転機でした。二代目は長男、四男、そして次男の父の3人で共同経営をしていました。その後2人の叔父はセミリタイア。そんな折、三代目として父と写真館経営に携わるようになりました。

新しいものを取り入れながら伝統を尊重する

スタジオには、祖父や父たちが築き上げた物が溢れています。撮影のバックに使用する緞帳はよく見ると、濃淡があります。二代目の3兄弟が生地の上から塗料で一つ一つ塗って作ったもの。「アンソニー」は、祖父の代から使用していた大型カメラ。フィルムを入れれば、撮影可能です。そして棚には古いカメラの数々。大切な写真を取める台紙のデザインは創業当時から変わっていません。

輝明さん中心の運営を任せられるようになり、伝統を受け継ぎながら、新しい試みも積極的に取り入れています。

まず外部から、スタッフを採用。「親子ほどの年齢差がある」高嶋柚羽さんです。「若い感覚はとても大切。私が気づかないことをさざりと言ってくれる」と、輝明さん。

撮影のカテゴリーは家族写真が圧倒的に多いのですが、「お受験写真」「ペットといっしょ」「マタニティフォト」を新たに提案、好評です。3世帯同居が減り、1世帯ファミリー中心になった今も、写真に残したい家族の歴史、絆の想いは変わりません。



令和4年(2022)9月に他界された父、賢一さんと、貴重なツーショットになった



左が創業者の祖父善男さん。家族、抱っこされているのが輝明さんの父、賢一さん



祖父、父が愛用したカメラの数々



スタッフの高嶋さんに大いに支えられている



写真館の中にも所蔵しと写真の数々が並ぶ。3代にわたり撮影している家族も多い

親子3代にわたり、家族写真の撮影に通うお客様が目立ちます。外国人の多い街だからこそ口コミで広まり、こちらの写真館を訪れる外国人家族からの依頼も創業時代から。今の家族の姿を残したいという想いは、世界共通です。

輝明さんのお嬢さん2人は小学生。カメラに興味があるようで、「ちょっと嬉しいですよ」と、すっかりパパの顔に。そんな未来に夢を託しながら、「かけがえのない今を、かけがえのない未来の宝物へ」。松尾写真館の想いは永遠です。

松尾写真館
港区麻布十番2-1-11 03-3451-9436
HP <https://azabu-matsuo.com>

(取材・文/高柳由紀子)